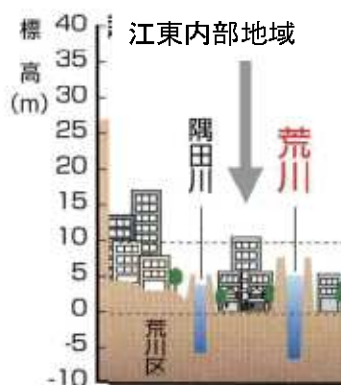


下町河川 Tomorrow

東京都の江東内部河川流域連絡会の情報紙（会議録）

平成19年12月20日（木）

第29回（第5期第3回）江東内部河川流域連絡会を開催



- ・上図は江東内部河川流域の地盤と、隅田川と荒川の堤防の高さを示しています。この地域は非常に地盤の低い地域となっています。
- ・右図は、東海豪雨（平成12年9月）と同様の雨が降り、江東内部河川流域が浸水した場合に想定される水深を示しています。

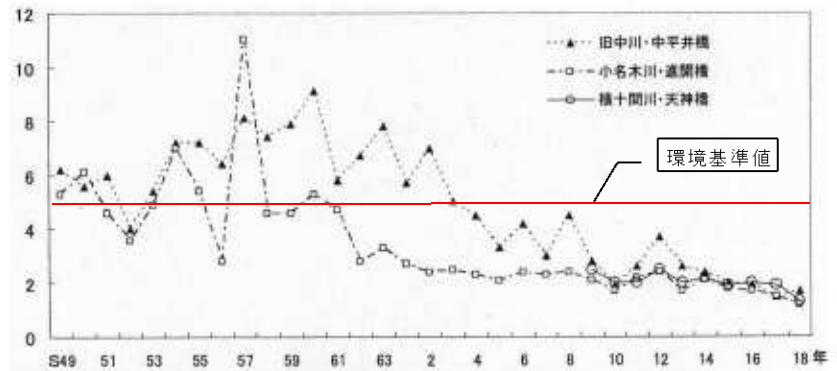
- ・「第29回（第5期第3回）江東内部河川流域連絡会」を、午後2時から約2時間30分程度で江東区文化センター6階第1～3会議室において会議を実施しました。
- ・都民委員8名と墨田区、江東区、江戸川区、東京都江東治水事務所等の行政委員11名等が参加しました。
- ・水質、下水道等の状況、市民委員からの提案事項について、意見交換を行いました。

行政委員からの報告

江東内部河川の水質 [報告 : 環境局]

・江東内部河川では、環境基準の類型が指定されている横十間川、大横川、北十間川、豎川、小名木川及び旧中川の6河川で水質調査を実施しています。

・BODは、「有機性の水の汚濁」を示す指標ですが、平成18年度では、1.2～1.9mg/lの範囲で、これは環境基準を満たしています。ちなみに隅田川（両国橋）は同年2.1mg/lでした。



BOD経年変化

江東内部河川地域における合流改善事業 [報告 : 下水道局]

・下水道局の重点事業として、①合流式下水道の改善、②浸水対策、③再構築に取り組んでいます。

・合流式下水道の改善として、大雨の日に、合流式下水道から河川などに放流されている汚れを集めて処理する施設を整備し、河川などへの放流回数などを減らします。（下図参照）

・浸水対策として、都市化の進展により、地面に雨がしみ込まない地域があるため、幹線管きよやポンプ所を増強し、1時間50ミリの雨による広範囲な浸水被害の改善を図っています。

（右図参照）



・また、老朽化の著しい下水道管きよを計画的に再構築しています。

扇橋閘門及びロックゲートの休日試行 [報告 : 江東治水事務所]

- ・通常、休日は開閉していない、扇橋閘門及び荒川ロックゲートを、平成19年11月11日(日)に休日運用を試行しました。
- ・通過船舶が少ない要因として、前日及び当日が雨天となり、マリナーでのレンタルボート等のキャンセルが相次いだことが影響しているとのコメント(国土交通省荒川下流河川事務所)が紹介されました。
- ・また、扇橋閘門の色あせていた通航標識を取り替えた旨、報告がありました。



表 通過船舶の状況

	プレジャーボート	カヌー、手漕ぎ等
扇橋閘門	4隻	5隻
荒川ロックゲート	7隻	4隻

荒川・隅田川のスーパー堤防 [報告 : 事務局]

- ・東京の東部低地帯と呼ばれる地域は、元来地盤が低く軟弱であったことに加え、明治末期から昭和の高度経済成長期にかけて地盤沈下が進行した結果、非常に地盤の低い地域となっています。この地域を高潮や大地震による水害から守るため、スーパー堤防事業を行っています。
- ・スーパー堤防は背後地の開発と一体的に整備するため、治水に対する安全性とともに、うるおいのある水辺の再生が図られます。

◎堤防断面(隅田川)

● 現況の防波堤



● スーパー堤防

■: 複層斜型堤防部



小名木川人工橋の整備 [報告 : 江東区]

- ・小名木川の番所橋と丸八橋の間、大島中学校の地先付近に人工橋を整備しています。
- ・バリアフリー対策としてスロープにしています。
- ・また、護岸の整備イメージに合わせて、江戸情緒をイメージさせる高欄や桁のデザインを採用し、また、昔の風景のレリーフをつけています。
- ・3月20日完成予定です。



都民委員からの提言等

「水面から街を見直し世界にチャレンジ」 [報告 : 正岡氏]

- ・1987年に発足した、墨田区立中学校ボート教育推進委員会によって、中学生のボート教育が江東内部河川で行われています。
- ・ボート競技の練習水域は、主に横十間川の松代橋からクローバー橋、そして小名木川です。
- ・私は墨田区でボート競技を指導して、21年目に入りました。今後の墨田ボート発展のための試案を提案します。

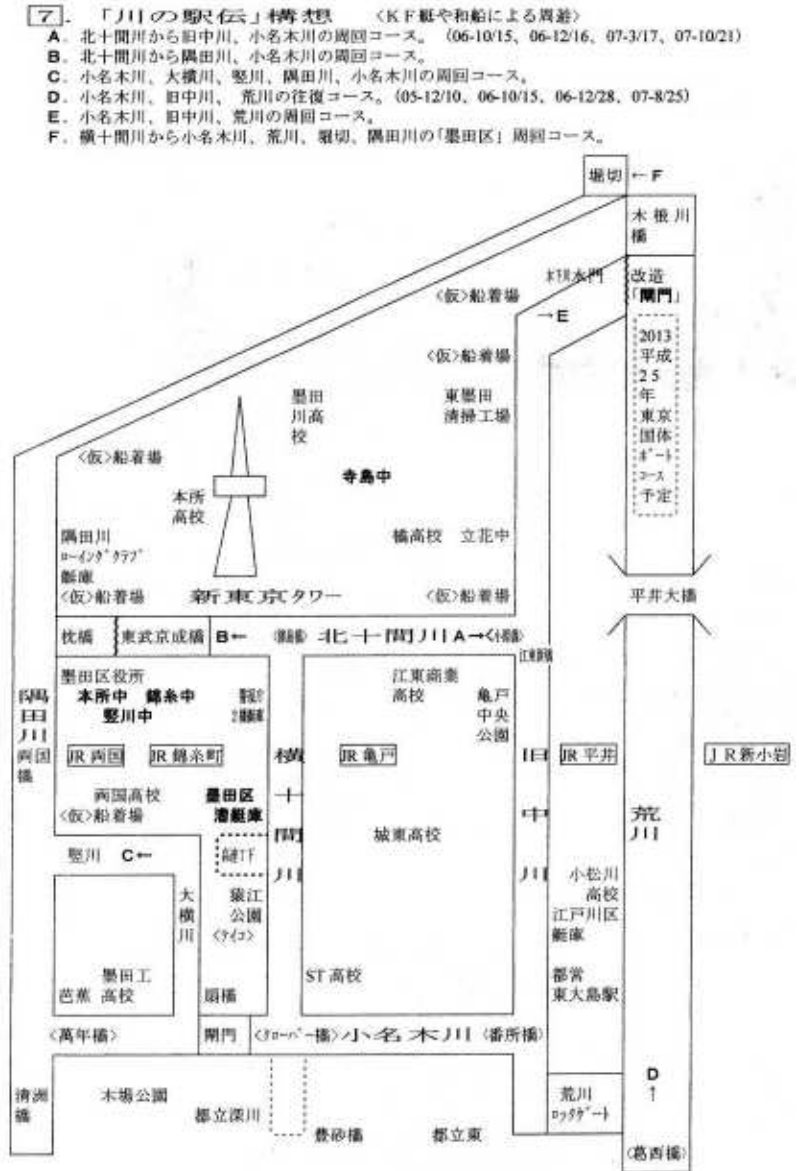
①横十間川艇庫の拡充

- ・現在の仮艇庫を本格的な艇庫に改築する。また、高速道路7号線下（錦糸町入口下）、松本橋～横十間川の空き地を「艇置き場」にする。さらに現在の船台に仮設船台を増設する。

- ②横十間川からの遠漕コースを整備。また、コース整備に併せて、休憩所・トイレ等を備えた「川の駅」を整備する。

- ③隅田川ローイングクラブ(SRC)の「ジュニア」を充実させ、「ジュニア」世代を育成する。

- ④「川の駅伝」構想として、KF艇や和船による周遊を実施する。(上図参照)



墨田区景観基本計画に関連して [報告 : 梅原氏]

- ・墨田区景観基本計画（未策定・1月11日まで意見募集）に記載されている堅川の橋及び橋詰の整備箇所、埋立てて、公園化した河川に架かる橋梁の保存方法、曳舟川や中居堀の復活の範囲等について、資料により質問いただきました。
- ・また、和船やボート競技選手育成に堅川・大横川を利用するよう提案がありました。

[水質及び下水道整備事業について]

- ◆小松川第二ポンプ所の完成はいつか。
- ◇第一期稼働は平成 27 年の完成をめざしています。第二期は 30 年代になると思いますが未定です。第一期稼働とともに、大島ポンプ所からの排水は小松川第二ポンプ所に切り替わるので、旧中川への排水はなくなります。
- ◆過去に横十間川・天神橋付近にて、ダイオキシンが検出されたが、現時点で問題はないか。
- ◇ダイオキシン対策として、発生現場で固めて留めておく方法をとりました。現在、溶出しな
いか、調査を継続的に実施している状況です。

[墨田区景観基本計画に関連して]

- ◆計画にて、「堅川に架かる橋は、・・・印象的な橋のデザイン化や、・・・橋詰空間づくりを
図ります」と記載されているが、堅川のどの部分で行うのか。
- ◇墨田区内の堅川についてです。ただし、親水公園化しているところでは橋のしつらえ方は違
ってきます。また、東京都が行う耐震護岸工事と連携して進めていくため、将来的な考え方
を示したイメージととらえてください。
- ◆計画にて、埋立てて、公園化した河川に架かる「橋を残す」と記載されているが、大横川の
清平橋は撤去してしまうのか。
- ◇清平橋は撤去の方向で基本設計を進めています。区で管理している 26 橋の内、架橋後 70 年
を越える橋が 10 橋あります。この内、川を親水公園化してすでに水面がないところにかか
る橋については、基本的に落橋して道路築造を考えています。その際、例えばモニュメント
で昔の橋梁名を残すなど考えていきたい。また、架橋後 70 年を越える水面にかかる橋につ
いては、順次架け替えていく予定です。
- ◆墨田区内のかつての堀について、一部でも溝のような構造をつくるとか、整備しなくともサ
イン表示等でアピールしてはどうか。
- ◇新タワー建設で多くの観光客が訪れることもあり、その対応策について区の施策の中で考え
ています。上記の内容は貴重な意見としてお伺いしておきます。

[和船やボート練習、艇庫についての提案]

- ◆和船やボート競技選手育成に適しているのは、堅川と大横川だろう。墨田区漕艇庫を大横川
へ移設して大横川や堅川を非動力船の活動拠点としてはどうか。また、北十間川、横十間川、
小名木川を水上バスルートとして利用するなど、利用水域をわけてはどうか。さらに、大横
川親水公園の長崎橋～江東橋～撞木橋を水面に戻して、和船を浮かべてはどうか。
- ◆横十間川から小名木川に和船が出られるように整備してもらえれば上記の案もできる。
- ◆ボート練習をしている立場からいくと、大横川や堅川はボート競技を行うには適していない。
横十間川や小名木川が一番適している。
- ◇旧中川では、ボートをおろせる施設を整備しています。今後、横十間川も整備していく中で、
ボート等の対策は案の一つとして検討していきたい。
- ◇堅川親水公園の下の艇庫化等、横十間川の河川整備と区の親水公園の整備を一体的に進めて
いく中で、他の意見も合わせて参考にしていきたい。

流域連絡会の今後の予定

次回の流域連絡会は、1月31日（木）に予定しています。

江東内部河川流域連絡会・委員名簿

		住 所 ・ 団 体 名	氏 名
都 民 委 員	個 人	墨田区	梅原 博明
		墨田区	ふたき 二木 祥一
		墨田区（区内在勤）	正岡 久武
		江東区	菊地 進一
		江東区	黒木 正幸
		江東区	ひみ 氷見 修三
		江東区	吉田 正子
		江戸川区	山内 久二
	団 体	江東区 江東区和船友の会	松島 信治郎
		江東区 江東区和船友の会	三好 寿雄
江戸川区 旧中川灯籠流し実行委員会		江頭 正恭	
江戸川区 小松川平井地区連合町会		谷川 貞夫	
		所 属 ・ 職 名	氏 名
行 政 委 員	墨田区都市計画部都市整備担当道路公園課長	渡辺 茂男	
	江東区土木部水辺と緑の課長	荒木 猛男	
	江戸川区土木部計画課長	立原 直正	
	東京都環境局自然環境部水環境課長	池田 茂	
	東京都下水道局建設部土木設計課長	猪八重 勇	
	東京都下水道局東部第一管理事務所ポンプ施設課長	安藤 哲男	
	財団法人 東京都公園協会水辺事業課長	植村 敦子	
	東京都建設局河川部副参事（河川管理制度担当）	小谷 健	
	東京都建設局河川部副参事（総合治水・低地河川防災計画担当）	野村 隆	
	東京都建設局第五建設事務所管理課長	勝見 恭子	
東京都建設局江東治水事務所内部河川工事課長	小林 一浩 ◎		
東京都建設局江東治水事務所水門管理課長	土屋 彰夫		

◎ 座長

連絡先：江東内部河川流域連絡会事務局（東京都江東治水事務所内部河川工事課内）

担当：吉岡、清水

TEL：03-3692-4945（直通） FAX 03-3696-6499

Email address：S0200225@section.metro.tokyo.jp